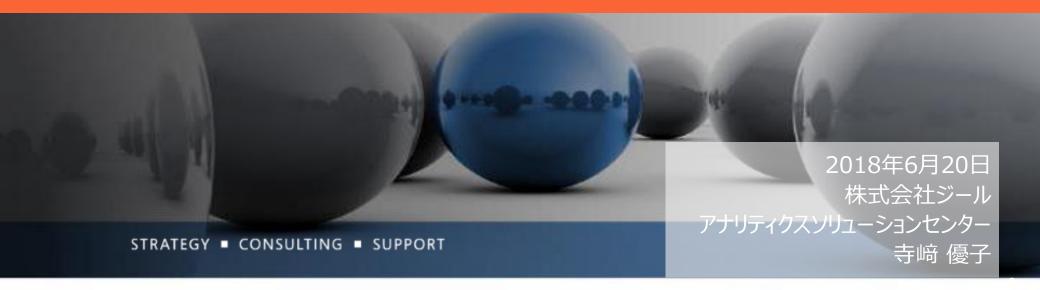
PGXユーザー勉強会 #8



レセプト・健診データをつかった介護予防



自己紹介





寺﨑 優子



株式会社ジール

アナリティクス ソリューション センター テクニカルマネージャー/データアナリスト



データ活用および分析全般

マイニング, 機械学習, Deep Learning, IoT, コグニティブ(画像解析, Chatbot, Pepper など)









@kouyukisarate ※「てらさきゆうこ」の反対読み



https://www.facebook.com/yuko.terasaki.52

「フレイル」って知ってますか?



「フレイル」

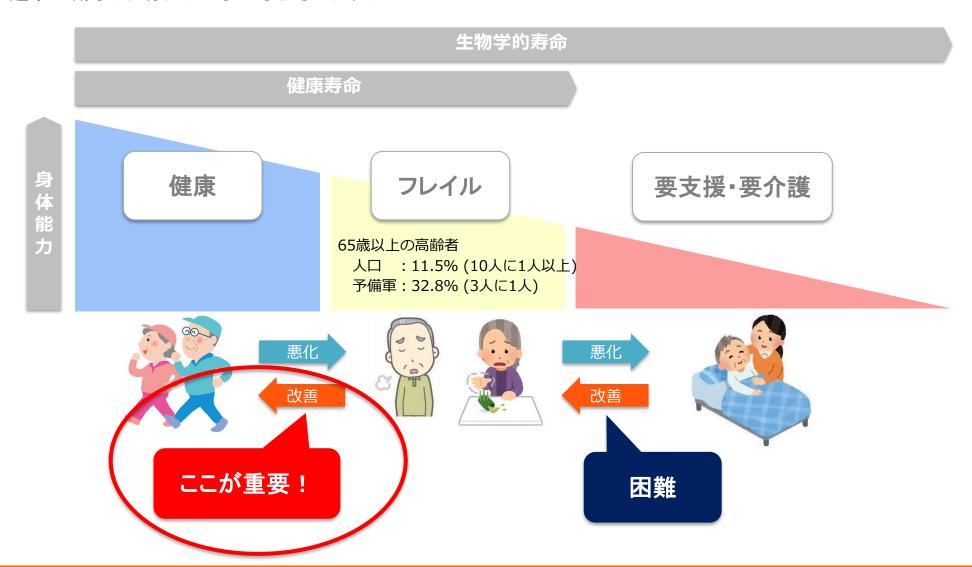
心身的落ち込み。

ストレスに弱くなり身体的機能や認知機能の 低下がみられる状態のこと。一人で外出したり、 身の回りのことをするのが難しくなる。

フレイルの概念図



フレイルになったとしても、運動などによって心身の状態の改善することが十分に可能であることが、 近年の研究から明らかになってきています。



フレイル評価基準



フレイル評価基準 (米国のLinda P. Fried提唱)

1. 体重減少

6ヶ月で2~3kg以上体重が減った

2. 疲労感

「わけもなく疲れた」と感じる

3. 筋力(握力)の低下

利き手の測定で男性26kg未満、女性18kg未満

4. 歩行スピードの低下

1m/秒未満の場合(前後1m前後の助走路と、測定期間5mで計測)

5. 身体の活動量の低下

1週間に軽い運動や体操や定期的な運動やスポーツをしていない

この5項目のうち、3項目以上が当てはまるとフレイルとし、 1~2項目が当てはまる場合はプレフレイルと呼びます。

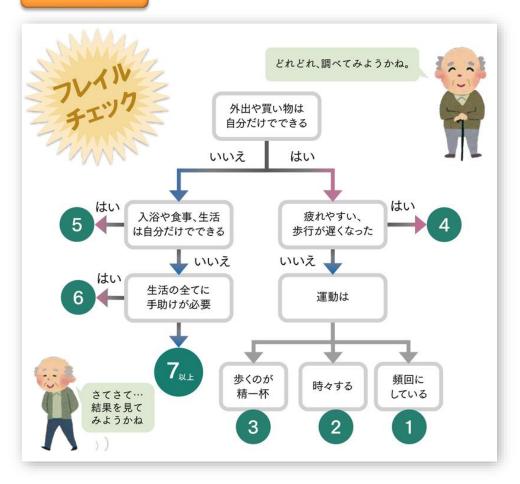
【参考】フレイルチェック!



厚生労働省



医療の現場



【出展】

(左側) 厚生労働省

http://www.city.date.hokkaido.jp/hotnews/files/00000900/0000905/20130225201948.pdf#search='厚生労働省+フレイル+基本チェックリスト' (右側) 医療法人社団 牟田病院

https://seiwakai-hp.jp/2016/11/15/【メディカルトピック】フレイルと糖尿病/

介護問題は最大の課題です!!





介護問題は最大の課題です!!





利用データ





人 ソーシャル

似た傾向の人を探す

行動 アクション

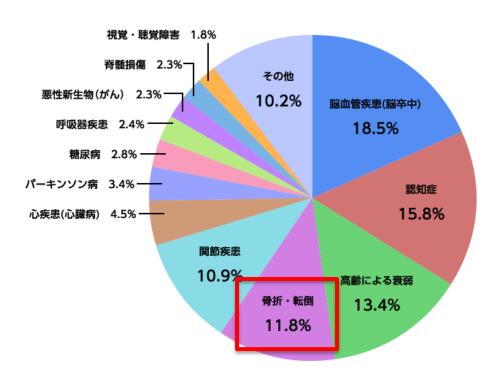
行動のターン発見

仮説 → (結果)



寝たきりになる原因 by 厚生労働省

図1 介護が必要になった原因



出典:厚生労働省「平成25年 国民生活基礎調査」

第14表 要介護度別にみた介護が必要となった主な原因の構成割合 平成25年より

介護が必要	要となった主な原因	割合
脳血管疾患(脳卒中)		18%
認知症		16%
高齢による衰弱		13%
骨折·転倒		12%
関節疾患		11%
その他	フレイル対策	8%
心疾患	の効果期待!	10/
パーキン	少 刻未朔付!	3%
糖尿病	フレイル → 心身的落ち込み → 身体的機能低下・認知機能低下 → 運動量低下(筋力低下) ↓	
悪性新生物		
呼吸器疾患		
視覚•聴覚障		
脊髄損傷		
不詳		
わからない		
	転倒	



■収集データの拡張

できたらいいな

- レセプト・健診以外のデータ収集も検討
- 問診だと正直な回答をしない場合もあるため、センサーデータ(IoT)や見守り記録(テキスト)を活用して、より正確な行動を把握する

■モデル改良

- データの取捨選択や重み付けなどによるチューニング

■パターン発見を可視化

- Cytoscape または その他ツールにて可視化

■サンプルデータでPGXを実施し公開



BI EVANGELISTS

3-5422-8477

a 03-5422-8714

http://www.zdh.co.jp